

平成25年度 「各部の運営方針と目標」掲載 個別事業評価表

事業名	地域・学校・関係機関が連携した実践的な防災訓練及び協働による地域防災力向上の取り組み	個別事業掲載No	総 — 1
-----	--	----------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量>		<②事業実施による成果>	
	<ul style="list-style-type: none"> 学校との連携を強化した総合防災訓練の実施 三鷹駅周辺帰宅困難者対策訓練の実施 地域防災力向上モデル事業（下連雀六丁目周辺地区）連絡会 6回開催 防災出前講座 40回実施 		<ul style="list-style-type: none"> 帰宅困難者対策訓練の実施による関係機関の連携力強化 地域・学校・関係機関が連携した総合防災訓練及び下連雀六丁目防災広場（仮称）整備による地域連携対策の実施による地域防災力の強化 積極的な防災出前講座の実施による市民の自助と共助の防災力の向上 	
通年	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織連絡会開催 4回 避難所運営連絡会開催（各地区） 	上半期 <ul style="list-style-type: none"> 7月 全機関会議の開催 三鷹駅周辺帰宅困難者対策連絡会（仮称）の開催 7月 地域防災力向上モデル事業（下連雀六丁目周辺地区）連絡会の開催 	下半期 <ul style="list-style-type: none"> 9～11月 総合防災訓練の実施 2月 帰宅困難者対策訓練の実施 下連雀六丁目防災広場（仮称）を活用した防災活動の実践 	

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
<p>総合防災訓練実施に向け、自主防災組織を中心に準備を進めている。特にメイン会場では訓練の企画の段階から学校やコミュニティ・スクールと連携しながら四中生徒の実践的な訓練参加を目指し検討を進めている。地域防災力向上モデル事業では連絡会をこれまで2回開催し、下連雀防災広場（仮称）の運営や活用などを通じて地域防災力の向上を図っていく取り組みを進めている。防災出前講座は9月末までに15回の実施を予定している。</p>			
<事業評価審査会特記意見>			
<p>市民の要望に応じた防災出前講座の取り組みは大いに評価できる。今後も、総合防災訓練等の場を利用した取り組みと合わせ、地域防災力向上の取り組みを進めることが望まれる。</p>			
<政策会議における評価・意見等>			
<p>重点的に取り組む課題とする 地域の自主組織による防災キャンプ等の活動への支援の位置付けを明確にすること。</p>			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量>		<②事業実施による成果>	
	<ul style="list-style-type: none"> 学校及びコミュニティスクール委員会と連携した総合防災訓練の実施 全機関会議の実施（3回） 地域防災力向上モデル地区事業連絡会の開催（8回） 下連雀六丁目防災広場オープニングイベント開催 帰宅困難者対策訓練の実施 防災出前講座（42回開催） 		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携して中学生の防災力の強化を図ることができた。 帰宅困難者対策としての情報伝達手順の確認及び一時滞在施設の運営方法について検討を行うことができた。 下連雀六丁目防災広場の周知及び周辺地域の住民のネットワークづくりのきっかけとなった。 	
実施状況				
通年	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織連絡会開催（3回） 避難所運営連絡会開催（各地区） 全機関会議の開催（3回） 地域防災力向上モデル地区事業連絡会（8回） 三鷹駅周辺帰宅困難者対策連絡会（3回） 	上半期 <ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練（メイン会場）準備・調整 コミュニティスクール委員会と連携した中学生の防災力向上訓練（4回） 総合防災訓練の実施（4地区） 	下半期 <ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練（メイン会場）の実施（11月4日） 帰宅困難者対策訓練（通信訓練）の実施（2月14日） 下連雀六丁目防災広場の開園（11月16日） 	

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	1	(2) 事業評価審査会評価	1
<p>総合防災訓練は四中をメイン会場として実施し、学校やコミュニティスクール委員会の協力のもと、中学生が実働訓練を行うとともに、参加者体験型の訓練を主体として行い、今後の中学生の防災力向上のモデルとなる訓練となった。帰宅困難者対策訓練は雪のため情報伝達訓練のみとなったが、準備を通じて三鷹駅や商工会をはじめ駅前周辺施設との連携が図れ、次回に繋がる内容であった。地域防災力向上モデル地区事業は、下連雀六丁目防災広場の開園をはじめオープニングイベント実施に向けた取り組みの中で、地域の防災意識の向上を図ることができた。防災出前講座は目標を超える42回開催した。</p>		<p>下連雀六丁目防災広場の整備を住民のネットワークづくりにつなげるとともに、ゼロアップ事業として防災出前講座を実施したことは、自助、共助の取り組みを広げたものと評価できる。</p>	
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	6,968	5,812	5,812
決算額	6,753		5,173
執行率(%)	96.9%		89.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名 指定管理者制度の検証と改善	個別事業掲載No	総 — 2
--------------------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・指定管理者の評価・公表 ・指定管理者の選定、評価制度の検証と改善及び関係規則・基本方針等の見直し				<②事業実施による成果> ・指定管理者制度の適正な運用の確保
実施計画					
通年	・指定管理者の評価・公表 ・指定管理者の選定 ・評価制度の検証と改善	上半期	・7月 指定管理者の評価（主管課、分科会及び評価委員会） ・9月 評価結果の公表 ・関係規則等の見直し	下半期	・10月 指定管理者の選定 ・12月 指定議案の上程 ・評価制度の検証と改善 ・基本方針の見直し

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	2	事業評価審査会評価	2			
<上半期の実績及び課題等> 本年度の指定管理者の評価を実施するに当たり、規則と要綱を改正して選定・評価委員会委員に新たに教育長を加えるなどの改善を図るとともに、評価シートや審議対象・方法等の簡素合理化を図ったうえで、選定・評価委員会を予定どおり7月に実施した。引き続き基本方針の見直しの検討に取り組むとともに、さらなる評価精度の向上と効率化に取り組む。						
<事業評価審査会特記意見>						
<政策会議における評価・意見等> 指定管理者の評価制度の見直しについて再検討すること。						

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・指定管理者の評価・公表 ・指定管理者の選定、評価制度の検証と改善及び関係規則・基本方針等の見直し				<②事業実施による成果> ・指定管理者制度の適正な運用の確保 ・新たな基本方針案の作成（26年4月確定）
実施状況					
通年	・指定管理者の評価・公表 ・指定管理者の選定 ・評価制度の検証と改善	上半期	・7月 指定管理者の評価（主管課、分科会及び評価委員会） ・9月 評価結果の公表 ・関係規則等の見直し	下半期	・10月 指定管理者の選定 ・12月 指定議案の上程 ・新たな基本方針案の作成・協議（26年5月確定）

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
<p>7月に選定・評価委員会を実施して9月にHPで評価結果の公表を行い、10月には候補者の選定を行って評価から選定まで予定どおり実施した。</p> <p>委員に新たに教育長を加えるなど見直しを行い、選定・評価委員会に関する規則及び要綱の改正を行った。また、評価対象施設を「重点評価施設」とその他の「一般評価施設」に分けるなど評価方法の効率化・簡素化を図った。さらに、基本方針の見直しに取り組み、導入・運用の基本方針案を作成して協議を進め、方針は平成26年5月に確定した。</p>			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	0	0
決算額	0		0
執行率 (%)	0.0%		0.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	条例等の適切な制定・改正・運用など政策法務力の向上	個別事業 掲載No	総 — 3
------------	---------------------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・政策法務研修・文書実務研修の実施（計3回） ・文書実務基礎研修の実施（2回） ・文書管理システム操作研修の実施（2回）	<②事業実施による成果> ・政策法務力の向上 ・基礎的文書管理能力の向上			
実施計画					
通年	・政策法務研修・文書実務研修（計3回） ・文書実務基礎研修（2回） ・文書管理システム操作研修（2回）	上半期	・4月 文書実務基礎研修 ・4月～6月 文書管理システム操作研修 ・6月～ 政策法務研修・文書実務研修	下半期	・10月～ 政策法務研修・文書実務研修

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
第1回政策法務研修（公の施設を巡る諸問題）（30人、うち外郭団体の職員14人・満足度87%）を6月に実施した。次回は12月に実施予定。また、文書実務基礎研修（54人※嘱託員を含む。）を4月に、文書管理システム操作研修（計120人）を4月・6月に実施した。今後も職員のニーズを的確に把握し、効果的かつ効率的な文書・法務研修を実施する必要がある。 第3次地方分権一括法への対応についても、企画経営課と連携した取り組みを進める。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
重点的に取り組む課題とする 政策法務研修における法律相談については、対象職員の範囲に留意すること。			

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・政策法務研修・法制執務研修の実施（計4回） ・文書実務基礎研修の実施（2回） ・文書管理システム操作研修の実施（2回）	<②事業実施による成果> ・政策法務力の向上 ・基礎的文書管理能力の向上 ・研修の受講者数 延べ333人			
実施状況					
通年	・政策法務研修・法制執務研修（計4回） ・文書実務基礎研修（2回） ・文書管理システム操作研修（2回）	上半期	・4月 文書実務基礎研修 ・4月、6月 文書管理システム操作研修 ・6月 政策法務研修	下半期	・12月 政策法務研修 ・1月、3月 法制執務研修 ・第3次地方分権一括法への対応

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価 2 文書実務基礎研修を2回、政策法務研修を2回予定どおり実施することにより、基礎的文書管理能力の向上及び政策法務力の向上を図ることができた。また、文書審査・指導の能力の向上を図る法制執務研修を2回実施した。アンケート結果は、政策法務研修が満足度87%（第1回）と63%（第2回）、法制執務研修が92%（第1回）と96%（第2回）と高い評価を得ることができた。	(2) 事業評価審査会評価 2																
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">998</td> <td style="text-align: center;">1,045</td> <td style="text-align: center;">1,045</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td style="text-align: center;">945</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">1,045</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td style="text-align: center;">94.7%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	998	1,045	1,045	決算額	945		1,045	執行率 (%)	94.7%		100.0%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績														
予算額	998	1,045	1,045														
決算額	945		1,045														
執行率 (%)	94.7%		100.0%														

平成25年度 「各部の運営方針と目標」掲載 個別事業評価表

事業名	事業継続計画[震災編]等の改定と推進	個別事業掲載No	総 — 4
-----	--------------------	----------	-------

1 当初計画

目標指標	<p><①実施する事業量></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画[震災編]の改定 災害対策本部運営マニュアルの改定 防災ポケットメモの改定 オフィス家具転倒防止対策の実施 	<p><②事業実施による成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 改定した地域防災計画に基づき、事業継続計画[震災編]等を改定することにより、市の危機管理体制の整備・強化を進める。 非常時優先業務遂行に必要な執務環境を維持する。
実施計画		
通年	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画[震災編]等の改定及び周知・推進 オフィス家具転倒防止対策の実施 	<p>上半期</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月 災害対策本部運営マニュアルの改定 9月 防災ポケットメモの改定 オフィス家具転倒防止対策の実施 <p>下半期</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月 事業継続計画[震災編]の改定 12月 防災ポケットメモの発行 事業継続計画[震災編]の周知 災害対策本部運営マニュアルの周知 オフィス家具転倒防止対策の実施

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<p><上半期の実績及び課題等></p> <p>地域防災計画の改定を踏まえ、現在災害対策本部運営マニュアルの改定作業を進めている。また、事業継続計画[震災編]推進チームの設置に向け、災害対策本部班長会議において説明を行った。</p> <p>今後、BCPの実行に向け、職員の計画への理解を深めていくことが課題である。</p> <p>オフィス家具転倒防止対策については、組織改正の範囲を見極め下半期以降に実施とする。</p>			
<p><事業評価審査会特記意見></p>			
<p><政策会議における評価・意見等></p> <p>重点的に取り組む課題とする</p> <p>災害時避難行動要支援者の名簿作成については、健康福祉部と連携を図り慎重に検討すること。</p>			

3 達成状況

目標指標	<p><①実施した事業量></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画[震災編]（通常業務）の確認及び見直し 災害対策本部運営マニュアル（改定版）たたき台の作成 オフィス家具転倒防止対策（第二庁舎:62台、第三庁舎:16台） 	<p><②事業実施による成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 改定した地域防災計画に基づき、事業継続計画[震災編]等を改定することにより、市の危機管理体制の整備・強化を進める。 非常時優先業務遂行に必要な執務環境の維持が図られた。
実施状況		
通年	<p>上半期</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画[震災編]（通常業務）の確認及び見直し 	<p>下半期</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画[震災編]（通常業務）の検証 災害対策本部運営マニュアル（たたき台）の作成 オフィス家具転倒防止対策の実施

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	3	(2) 事業評価審査会評価	3																
<p>総務省ICTまちづくり事業における災害情報システムの構築など、災害対策本部の業務の見直しを進めているため、災害対策本部運営マニュアルについては、たたき台の作成にとどめ、引き続き検討していくこととした。</p> <p>防災ポケットメモの発行についても、本部運営マニュアルの内容を反映させ、平成26年度に改訂することとする。</p> <p>事業継続計画[震災編]の改定については、災害対策本部の班長をメンバーとしたプロジェクトチームを通じて、各課による通常業務の見直し及び検証を図り、今後、応急対策業務についても一定の見直しを進めていくこととした。</p> <p>オフィス家具転倒防止対策については、第二・三庁舎を実施し、組織改正によるレイアウト変更の予定がある本庁舎については、平成26年度に行うこととした。</p>		<p>平成24年度に改定した地域防災計画に基づき、速やかに関連計画等を改定する必要がある。</p>																	
<p>(3) 予算執行状況等 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>0</td> <td>5,085</td> <td>5,085</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0</td> <td></td> <td>2,091</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>41.1%</td> </tr> </tbody> </table>					24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	0	5,085	5,085	決算額	0		2,091	執行率 (%)	0.0%		41.1%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績																
予算額	0	5,085	5,085																
決算額	0		2,091																
執行率 (%)	0.0%		41.1%																

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	人財育成システムの検証と改善	個別事業 掲載No	総 — 5
------------	----------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・人財育成基本方針の改定 ・改定後の方針に沿った人事制度・職員研修の検証と改善	<②事業実施による成果> ・職員の意欲を高め、職員力を向上させるとともに、組織の活性化、組織力の向上を図る。
実施計画		
通年	上半期	下半期
・人事制度・職員研修の検証と改善	・人財育成基本方針の改定	・人事考課制度、昇任昇格制度、研修等の検証、改善

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> 平成25年8月に「三鷹市人財育成基本方針」の改定を行った。 下半期には、研修推進体制の活性化を検討する。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・人財育成基本方針の改定（平成25年8月）、改定した方針に沿った人事考課制度の見直しと制度説明会実施（6回） ・研修委員会委員による研修の検討会の実施（4回）	<②事業実施による成果> ・職員の意欲を高め、職員力を向上させるとともに、組織の活性化、組織力の向上を図った。
実施状況		
通年	上半期	下半期
・人事制度・職員研修の検証と改善	・人財育成基本方針の改定	・人事考課制度、昇任昇格制度、研修等の検証、改善

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価 2 改定した人財育成基本方針について、研修実施時等に周知を図り、職員の理解を深めるとともに、人事考課制度については、考課対象期間をはじめ8項目について見直しを行い、人財育成への活用、より公平・公正な制度とするほか、説明会を実施し、適正な運用に向けて制度的な整備を図ることができた。 研修推進体制は、研修委員会での検討を踏まえ、次年度以降、職員・職場のニーズに沿った研修を一層実現していくため、研修推進員及び研修委員会を活用した取り組みを推進する。	(2) 事業評価審査会評価 2 (3) 予算執行状況等 （単位：千円） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	0	0	0	決算額	0		0	執行率（%）	0.0%		0.0%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績														
予算額	0	0	0														
決算額	0		0														
執行率（%）	0.0%		0.0%														

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	職員定数の見直しと適正配置	個別事業掲載No	総 — 6
------------	---------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・きめ細かな各部との定数ヒアリングの実施 ・職員採用試験の実施 ・再任用職員の適正配置	<②事業実施による成果> ・きめ細かな各部との定数ヒアリングによる職員定数の設定・適正配置 ・職員の新規採用及び再任用職員の適正配置による組織力の維持向上		
	実施計画			
通年	・職員採用試験の実施	上半期		下半期
				・定数ヒアリング ・再任用選考

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> 職員採用試験については、引き続き2次試験の面接前にエントリーシート審査を行うなど、人物重視の選考を実施した。今後、職員定数について、各部とのきめ細かなヒアリングを行うとともに、職員の知識・経験・技術を継承・活用するため、再任用職員の適正な配置を進める。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 再任用職員の配置については、行政サービスの質の確保や嘱託職員、臨時職員を含めた総人件費の推移など、多角的な視点を持って取り組むこと。 専門職職員の採用、配置については、円滑な市民サービスの提供の観点から適切に取り組むこと。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・採用試験（一般事務）5月4日実施、（栄養士・一般事務（障がい者対象））9月22日実施 ・定数ヒアリング、再任用選考の実施	<②事業実施による成果> ・各部との定数ヒアリングによる職員定数の設定・適正配置を図った。4月1日に29人の新規採用及び18人の再任用により、組織力の維持向上を図った。		
	実施状況			
通年		上半期	・採用試験（一般事務）の実施	下半期
			・採用試験（栄養士・一般事務（障がい者対象））の実施 ・再任用選考の実施 ・定数ヒアリング	

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
職員定数については、業務の見直し・委託化等によりさらなる見直しを行った。北野ハピネスセンター成人部門運営業務及び学校給食調理業務の委託化等により削減するとともに、生活福祉課査察指導員等の増員を図った。また、専門職の採用については、専門職試験（栄養士）を実施し、組織における専門性の確保を図った。さらに、定年退職者を再任用することにより、蓄積された知識・経験・技術を活用した人事配置を行い、組織力の維持向上を図った。 次年度の専門職の採用については、専門職試験（土木技術）を実施し、職員の専門性の確保を図る。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	0	0
決算額	0		0
執行率 (%)	0.0%		0.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	ワーク・ライフ・バランスの推進及び時間外勤務の縮減	個別事業 掲載No	総 — 7
------------	---------------------------	----------------------	-------

1 当初計画

目 標 指 標	<①実施する事業量> ・時間外勤務縮減に取り組むとともに、過重労働対象職員及び所属長への産業医面談を行う。	<②事業実施による成果> ・時間外勤務時間数106,000時間以内を目標とし、職員の健康の維持管理、公務能率の一層の向上及びワーク・ライフ・バランスの実現を図る。		
	実施計画			
通 年	・時間外勤務縮減の取り組み ・過重労働対象職員及び所属長への面談の実施	上 半 期	・時間外勤務進行管理に係る各課ヒアリング	下 半 期

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1		
<上半期の実績及び課題等> 各課からのヒアリングに基づき時間外勤務の目標時間数を決定し、縮減に向けての取り組みの周知・徹底を図った。進行管理については四半期ごとの振り返りを行うこととし、第1四半期については昨年度比で実績減となった。また、過重労働対象職員及び所属長への産業医面談を行った。					
<事業評価審査会特記意見>					
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 時間外勤務が特定の職員に偏ることのないよう取り組むこと。 男性の育児休暇を促進すること。					

3 達成状況

目 標 指 標	<①実施した事業量> ・時間外勤務縮減に取り組むとともに、過重労働対象職員及び所属長への産業医面談を行った。	<②事業実施による成果> ・各課の適切な進行管理により、時間外勤務時間数が目標時間数106,000時間に対して約2,000時間の減となった。		
	実施状況			
通 年	・時間外勤務縮減の取り組み(四半期ごと時間外勤務実績の振り返り)、過重労働対象職員及び所属長への面談の実施	上 半 期	・時間外勤務進行管理に係る各課ヒアリング	下 半 期

4 事後評価 <1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等)>

(1) 主管課評価 1 全庁を挙げて時間外勤務の縮減に向けて取り組むとともに、進行管理の方法については、これまで1年間の振り返りを行っていたものを、四半期ごとの振り返りを行うこととした。これらの取り組みにより、年度当初に設定した目標時間数(106,000時間)に対して、約2,000時間縮減(前年度実績比約6,000時間)することができた。 今後も時間外勤務の縮減及び産業医面談を通じた健康管理に取り組み、職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。	(2) 事業評価審査会評価 1 全庁を挙げた時間外勤務時間数の縮減に向けた取り組みにより、目標時間数を下回る結果となり、前年度実績と比べ大きく縮減されたことが評価できる。																
(3) 予算執行状況等 (単位: 千円)																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	0	0	0	決算額	0		0	執行率(%)	0.0%		0.0%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績														
予算額	0	0	0														
決算額	0		0														
執行率(%)	0.0%		0.0%														

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	入札制度の継続的な見直し	個別事業掲載No	総 — 8
------------	--------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・入札参加資格を持たない市内事業者への発注のあり方の検討	<②事業実施による成果> ・入札参加資格を持たない市内事業者への発注に係る手法の構築	
実施計画			
通年	・入札参加資格を持たない市内事業者への発注に係る手法の構築	上半期	・他市事例の調査 ・手法の検討
		下半期	・手法の構築

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> 都内25市に類似制度の有無や制度の内容について調査を行った。今後、調査結果の整理・分析を行い、三鷹市に適した制度の検討及び構築を行う。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 入札参加資格を持たない市内事業者リストの作成にあたっては、障害者優先調達法で対象となる障がい者就労施設等も含め検討すること。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・調査結果を分析し、制度を構築した。 ・平成26年4月1日導入に向け登録希望事業者の募集を行い、登録リストを作成した。	<②事業実施による成果> ・登録事業者数：物品登録事業者17者、工事登録事業者15者（うち障がい者就労施設等の登録事業者は3者（いずれも物品の登録））。	
実施状況			
通年	・入札参加資格を持たない市内事業者への発注に係る手法の構築	上半期	・8月 都内25市へ調査 ・9月～10月 作成作業
		下半期	・11月 要綱制定 ・12月～平成26年1月末 受付 ・3月 リスト作成

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	(2) 事業評価審査会評価																
当初目標どおり、三鷹市小額契約受注希望者登録制度実施要綱の制定及び障がい者就労施設等を含めた登録リストの作成を行った。平成26年度は、4月より制度の運用及び随時登録の受付を開始するとともに、登録リストの活用状況等を調査し、制度の継続的な見直しを行う。 このほか、三鷹市現場代理人常駐義務取扱要領の改正、三鷹市競争入札等審査委員会付議案件の見直しを行った。	2																
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	0	0	0	決算額	0		0	執行率 (%)	0.0%		0.0%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績														
予算額	0	0	0														
決算額	0		0														
執行率 (%)	0.0%		0.0%														

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	情報公開条例及び個人情報保護条例の改正に向けた検討	個別事業 掲載No	総 — 9
------------	---------------------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・情報公開条例及び個人情報保護条例の改正に向けた検討を関係課で行う。	<②事業実施による成果> ・検討結果のまとめ			
実施計画					
通年	・条例改正検討会開催	上半期	・条例改正検討会において検討	下半期	・2月 検討結果のまとめ

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	2	事業評価審査会評価	2
<上半期の実績及び課題等> 平成25年度に番号制度法が成立したことに伴い、番号制度の導入に向けて、6月に「番号制度検討チーム」を設置し、個人情報保護条例の見直しが必要な項目等の検討を行うこととした。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・情報公開条例及び個人情報保護条例の改正に向けた検討を行った。	<②事業実施による成果> ・番号制度検討チームが設置する個人情報保護に関する検討WG内で、個人情報保護条例改正案の第一案を作成した。			
実施状況					
通年	・情報公開条例及び個人情報保護条例の改正に向けた検討を行った。	上半期	・9月 検討WG	下半期	・10月、1月、2月 検討WG ・3月 報告書作成 ・3月 条例改正案（第一案）作成

4 事後評価 <1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等）>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
個人情報保護条例については、番号制度検討チームが設置する個人情報保護に関する検討WG内で、個人情報保護条例改正案の第一案を作成した。第一案をたたき台にして、さらに内容を検討し、改正案をまとめた上で、改正に関し必要な調整を行っていく必要がある。情報公開条例については、法案の検討状況等、国の動向を調査した。			
(3) 予算執行状況等 （単位：千円）			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	0	0
決算額	0		0
執行率（%）	0.0%		0.0%